

1 気象経過と生育概況

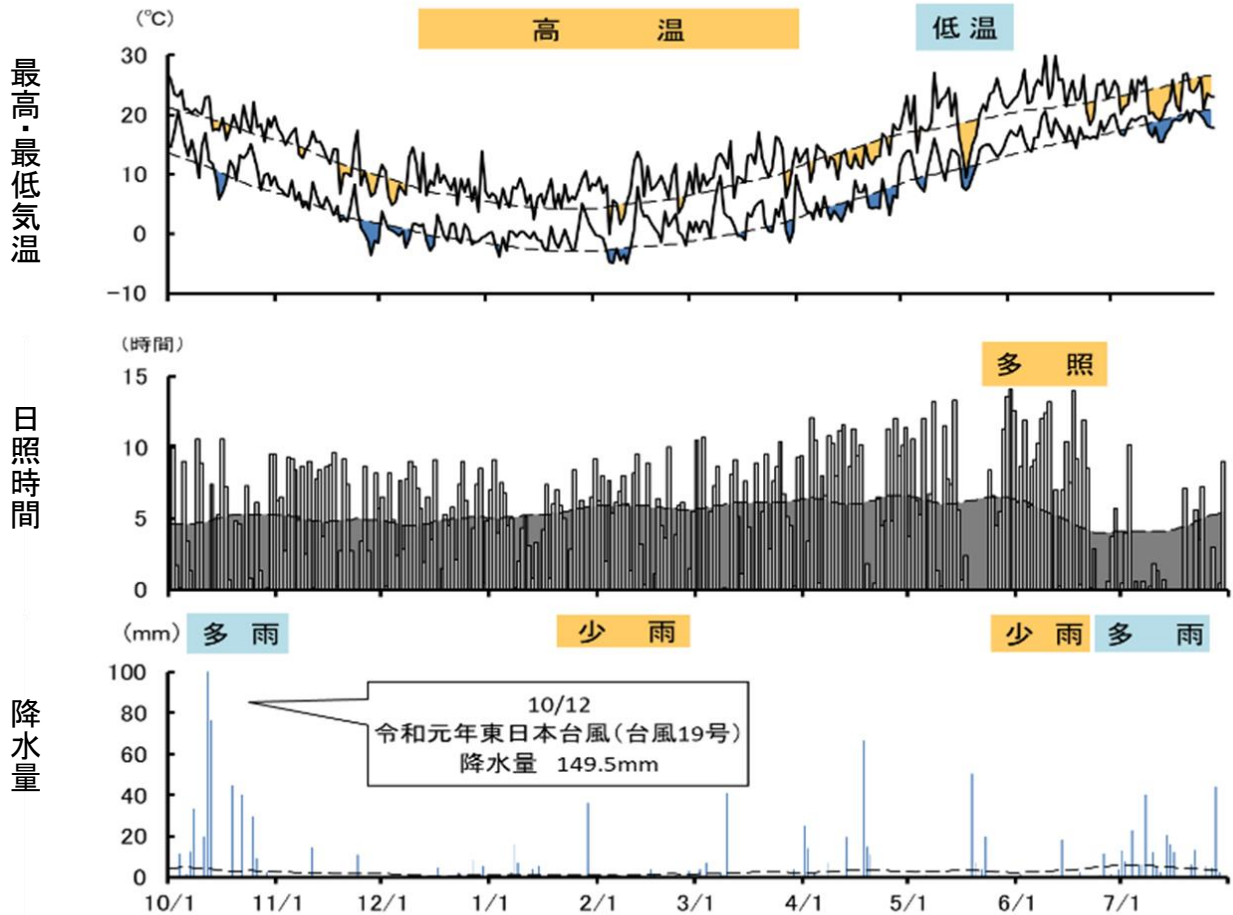


図1 麦類生育期間の気象経過(アメダス石巻)

※ 実線：R1～R2年，破線：平年値

播種期 ～ 越冬前 (10月～12月)

○ 播種作業が平年に比べて大幅に遅れた
→ 草丈・茎数は短く(少なく)なった
年内の生育量少

◆ 令和元年東日本台風の影響では場準備が遅れ、麦類の播種作業が遅れたほ場が多くなりました(図2)。

◆ 播種時期が平年よりも大幅に遅れたことによって、越冬前の生育量は平年よりも少なく、12月15日現在の草丈、茎数は平年よりも短く(少なく)、幼穂は確認されませんでした(図3)。

■ 10月中旬まで ■ 10月下旬 ■ 11月上旬 ■ 11月中旬以降

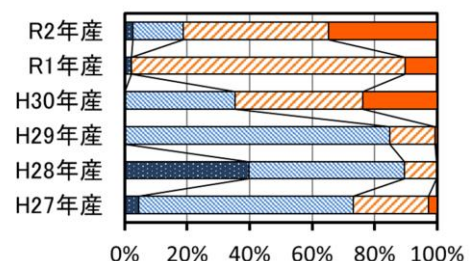


図2 石巻管内の麦類の時期別播種面積割合

※ 宮城県みやぎ米推進課調べ

冬期間（1月～2月）

- 1～2月は高温傾向
- 草丈は大麥, 小麦ともに平年よりも短い傾向だった
- 茎数は大麥, 小麦ともに平年よりも少ない傾向だった

- ◆ 1～2月を通して高温傾向で推移したため, 少なかった生育量は回復傾向を示しましたが, 播種が大幅に遅れたことから2月10日現在の生育量は平年を下回りました(図3)。
- ◆ 草丈は大麥, 小麦ともに平年よりも短くなりました(図3)。
- ◆ 茎数は大麥, 小麦ともに平年よりも少なくなりました(図3)。



写真1 2月10日現在のシュンライ

越冬後～成熟期（3月～6月）

- 幼穂形成期や出穂期は平年よりも遅い傾向だった

- ◆ 幼穂形成期や出穂期は播種遅れや4月の低温の影響もあり, 平年並～遅い傾向となりました(表1)。

表1 生育調査ほの生育ステージ

品種	調査ほ	播種日	幼穂形成期	減数分裂期	出穂期	成熟期	
シュンライ	桃生	本年	11月2日	3月24日	4月20日	5月2日	6月7日
		前年差	+13日	+10日	+1日	+5日	+2日
		平年差	+13日	+13日	+2日	+6日	+2日
ミノリムギ	桃生	本年	11月1日	3月28日	4月22日	5月6日	6月12日
		前年差	+13日	+13日	-2日	±0日	+2日
		平年差	+11日	+9日	±0日	+4日	±0日
	真野	本年	11月17日	3月30日	4月22日	5月5日	6月10日
		前年差	+22日	+21日	±0日	+4日	±0日
		平年差	+25日	+16日	+2日	+7日	+4日
ホワイトファイバー	水沼	本年	11月8日	3月22日	4月19日	4月29日	6月4日
		前年差	+19日	+8日	±0日	+2日	+1日
シラネコムギ	小船越	本年	11月9日	4月10日	4月30日	5月11日	6月25日
		前年差	+8日	-5日	-5日	-2日	+1日
		平年差	+12日	-1日	-2日	+1日	+2日
	桃生	本年	11月2日	4月2日	4月27日	5月9日	6月22日
前年差		+7日	-11日	-6日	-1日	+1日	

※ +は前年(平年)よりも遅いことを表し, -は前年(平年)よりも早いことを表す

※ 平年: 過去5年の平均

※ 水沼(ホワイトファイバー)は調査2年目, 桃生(シラネコムギ)は, 調査5年目のため平年値なし

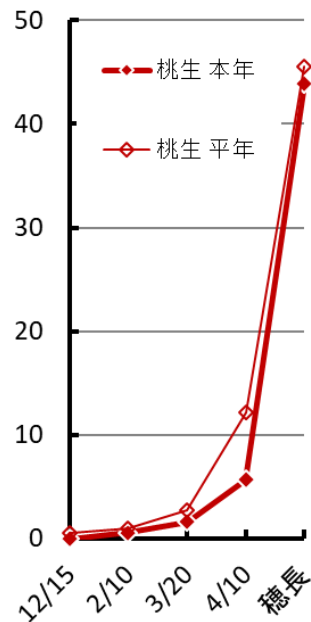
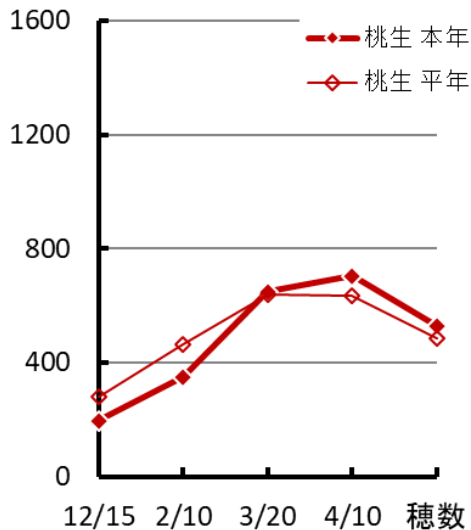
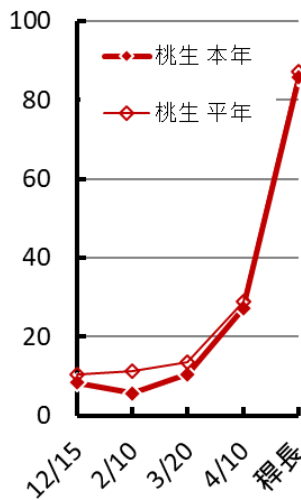
草丈 (cm)

茎数 (本/m²)

幼穂長 (mm)

シュンライ

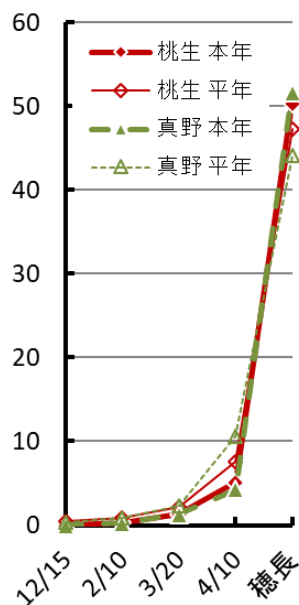
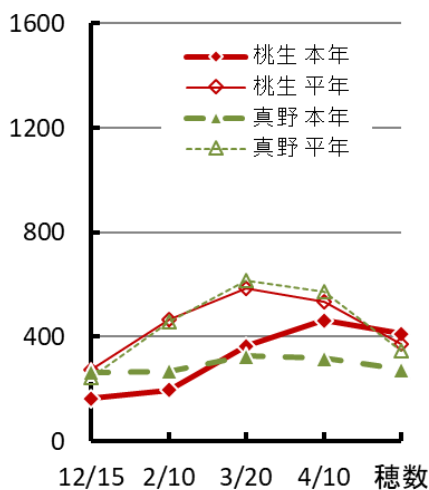
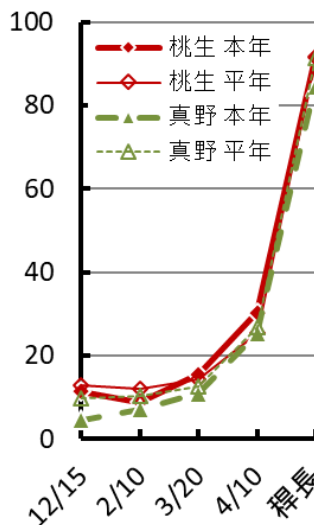
桃生 11/2播種 (平年差+13日)



ミノリムギ

桃生 11/1播種 (平年差+11日)

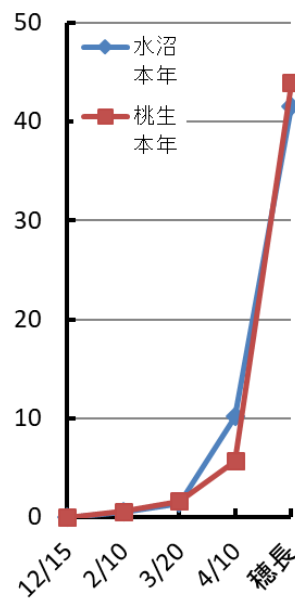
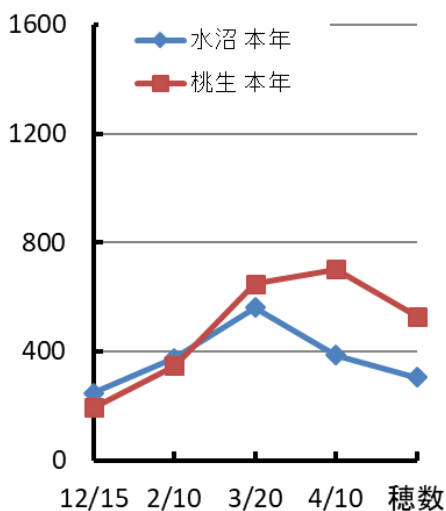
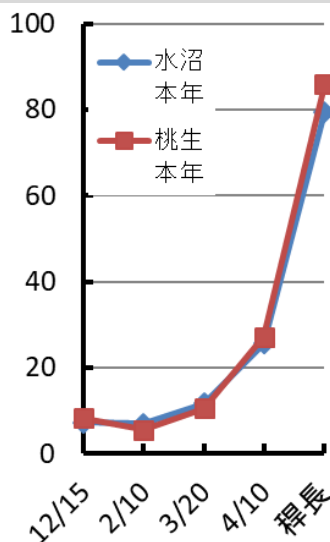
真野 11/17播種 (平年差+25日)



ホワイトファイバー

水沼 11/8播種

比較: 桃生 11/2播種 (シュンライ)



草丈 (cm)

茎数 (本/m²)

幼穂長 (mm)

シラネコムギ

小船越 11/9播種 (平年差+12日)

桃生 11/2播種

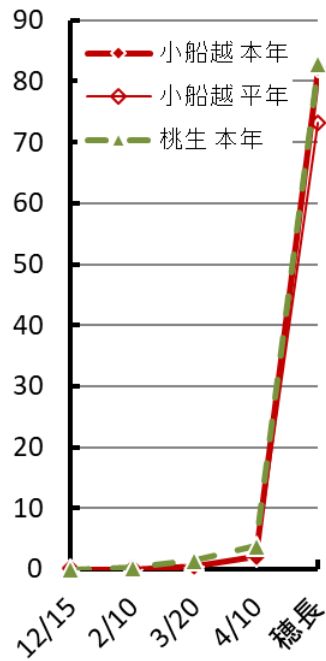
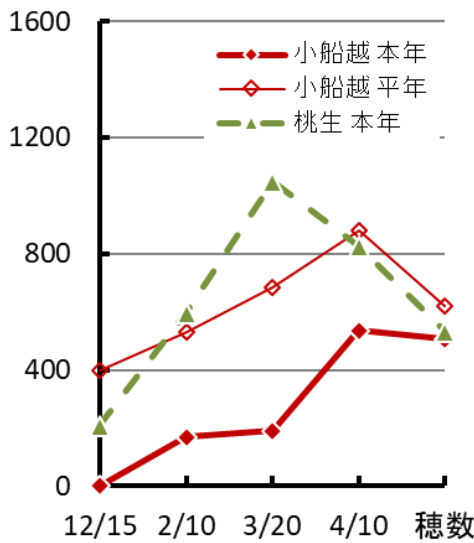
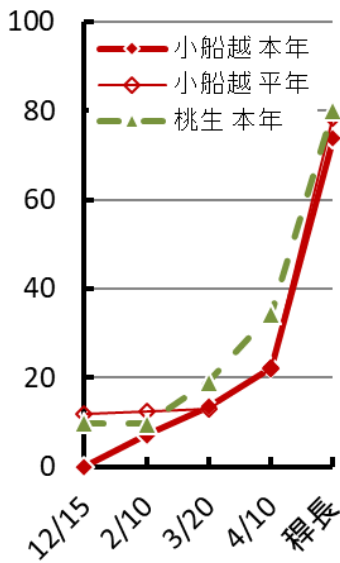


図3 生育調査ほの草丈(左), 茎数(中)及び幼穂長(右)の推移

※ 平年: 過去5年の平均

※ 水沼(ホワイトファイバー)は調査2年目, 桃生(シラネコムギ)は調査5年目のため平年値なし



シュンライ (桃生)



ミノリムギ (桃生)



ミノリムギ (真野)



ホワイトファイバー (水沼)



シラネコムギ (小船越)



シラネコムギ (桃生)

写真2 4月9日現在の各調査ほの生育状況



シュンライ (桃生 6/12)



ミノリムギ (桃生 6/12)



ミノリムギ (真野 6/11)



ホワイトファイバー (水沼 6/10)



シラネコムギ (小船越 6/29)



シラネコムギ (桃生 6/22)

写真3 成熟期頃の各調査ほの生育状況

- ◆ 適期管理ができたほ場では子実重は平年よりも大きい傾向でした(表2)。
- ◆ 収量は平年に比べ、大麦は平年を下回り、小麦は平年並でした(図4)。
- ◆ 農産物検査における1・2等の割合は、大麦、小麦ともに平年を下回りました(図4)。

※作柄要因と次年度に向けた対策については次頁参照

表2 生育調査ほの成熟期調査及び収量調査結果

品種(調査ほ)		稈長	穂長	穂数 (本/㎡)	子実粒数		千粒重 (g/千粒)	容積重 (g/L)	子実重 (g/㎡)	全重 (g/㎡)	わら重 (g/㎡)
		(cm)	(cm)		(粒/穂)	(千粒/㎡)					
シュンライ (桃生)	本年	86	4.4	529	36.7	19.4	38.1	689	670	1,407	492
	前年比	92%	110%	75%	110%	82%	116%	99%	107%	82%	66%
	平年比	99%	96%	109%	103%	119%	100%	99%	129%	117%	100%
ミノリムギ (桃生)	本年	91	5.0	411	39.3	16.2	36.9	652	524	1,174	448
	前年比	104%	117%	92%	105%	96%	116%	100%	127%	95%	87%
	平年比	100%	106%	111%	91%	102%	105%	96%	113%	103%	95%
ミノリムギ (真野)	本年	85	5.2	275	34.8	9.6	38.3	644	366	868	370
	前年比	91%	116%	78%	95%	74%	108%	97%	80%	79%	82%
	平年比	92%	117%	80%	108%	91%	110%	95%	99%	88%	79%
ホワイト ファイバー (水沼)	本年	79	4.2	305	31.4	9.6	38.6	657	369	831	347
	前年比	91%	87%	70%	96%	67%	111%	95%	75%	66%	68%
シラネコムギ (小船越)	本年	74	8.2	506	33.3	16.8	42.5	807	696	1,509	550
	前年比	84%	102%	78%	105%	82%	114%	104%	99%	90%	85%
	平年比	94%	112%	82%	142%	116%	115%	100%	145%	117%	95%
シラネコムギ (桃生)	本年	80	8.3	532	28.5	15.2	40.6	805	616	1,455	584
	前年比	86%	103%	89%	106%	95%	101%	102%	96%	132%	129%

※ 子実粒厚:大麦2.3mm, 小麦2.4mm以上のデータ

※ 平年:過去5年の平均値

※ 水沼(ホワイトファイバー)は調査2年目, 桃生(シラネコムギ)は調査5年目のため平年値なし

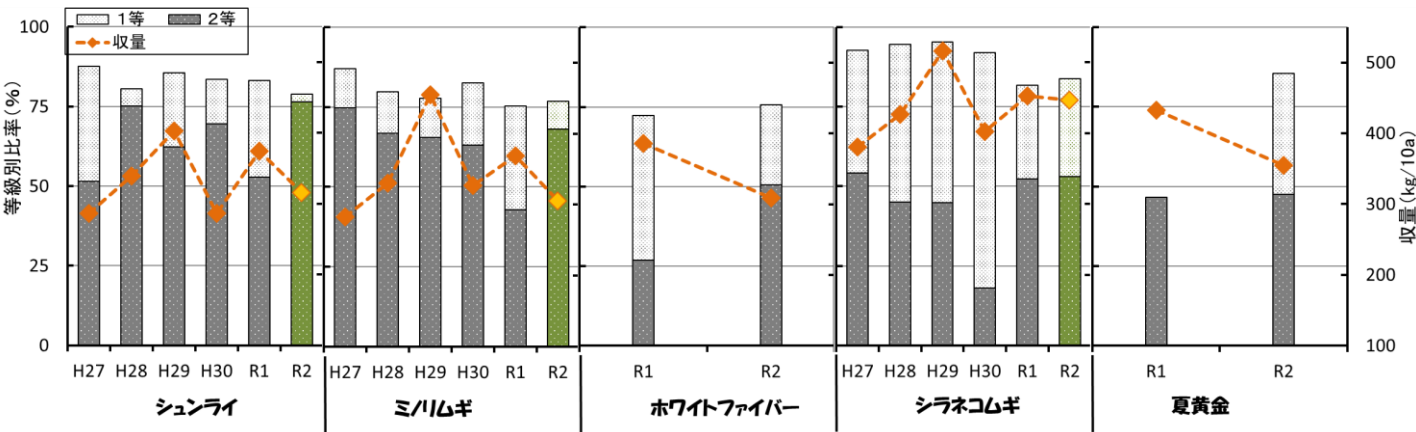


図4 石巻管内の検査等級別比率と収量の推移(JAIのまき農産物検査課提供資料より)

=== 平年(過去5年)と比べた収量・品質の傾向 ===

○ 収量

シュンライ:少
(平年比93%)

ミノリムギ:少
(平年比86%)

シラネコムギ:並
(平年比102%)

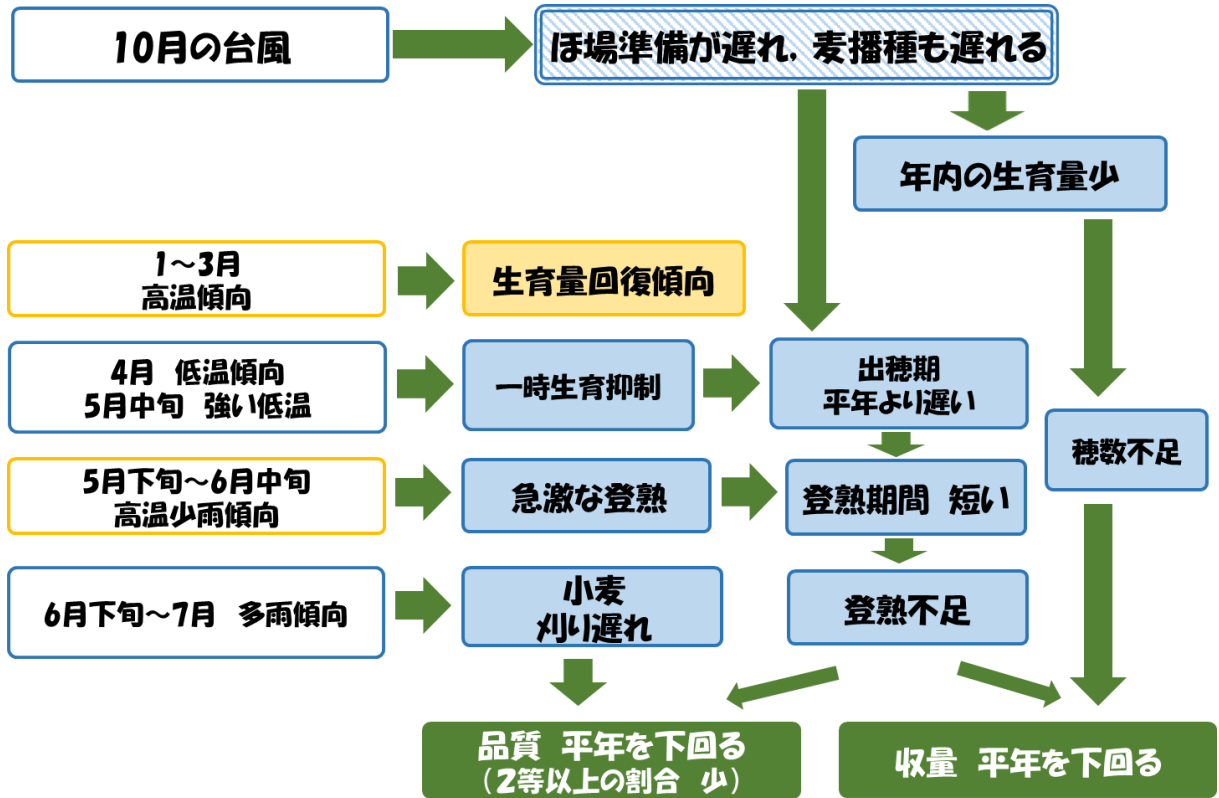
○ 1・2等の割合

シュンライ:少
(平年比94%)

ミノリムギ:少
(平年比95%)

シラネコムギ:少
(平年比92%)

R2年産麦類の作柄要因



次年度に向けた 対策

- **適期播種**: 適期 10月5日~20日
- **湿害対策の徹底**: 明渠, 暗渠
- **麦踏みの実施**: 年内1回, 年明け1~2回
- **適期追肥**: 幼穂形成期, 減数分裂期, 穂揃期(小麦のみ)

麦類も他作物と同様に**基本技術の励行**が大切です！
基本を確認し適期作業に努めましょう。

